

観光社会資本の事例

テーマ	山間地域における防災と地域住民(生活)との関わり
【施設の状況写真】	
	<p>←上流には S29 完成の上蔵砂防堰堤</p>  <p>大鹿小学校</p> <p>大西公園</p>  <p>大西山の崩壊</p> <p>旧大鹿小学校</p> <p>↑ S36.6.29 大西山の崩壊</p>  <p>大西山の崩壊</p> <p>大西公園</p> <p>大鹿小学校</p> <p>↑ 現在の大西山・大西公園</p>
<p>現在では、大西山の治山事業、大河原床固工群の砂防事業、大西公園の公園整備及び水辺の楽校等と連携した周辺整備が行われている。</p>	
【施設の利用写真】	
	  
<p>地域の生活の中で水辺と親しむ空間となっている 全国的なイベントとしてサイクリング大会の会場に位置する</p>	
【観光資源としての利用状況】 <p>大河原は、S36災害で死者を伴う甚大な被害がありました。 崩壊地につくられた大西公園は、桜の名所であり地域にも親しまれ、また、夏には水辺で親しむ姿やサイクリング都心からの山村留学を迎え利用が盛んである。 また、歴史的な史跡、砂防施設があることで地球博のエクスカージョンでも紹介されている。 来年で S36災害が45年を迎え、地域と連携した新たな取り組みが昨年より企画中である。</p>	

テーマ	山間地域における防災と地域住民(生活)との関わり(仮称)
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>○名称 水辺の楽校(大河原床固工群)</p> <p>○所在地 長野県下伊那郡大鹿村大河原</p> <p>○事業名 水辺の楽校プロジェクト</p> <p>○事業主体 大鹿村</p> <p>○事業期間 平成6年～平成22年</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>安心できる生活基盤づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ S36 災害で大西山が崩壊(320万m³)し土砂と岩石が村を襲いました。39 戸の住宅を破壊し、水田30余町歩を埋没させ、42人の尊い命を奪いました。 ・ 復旧工事では河道の土砂を取り除き、新たな河道をつくり河床・河岸の浸食防止、河道不安定土砂の二次移動防止、異常堆積による氾濫防止を目的として大河原床固工群を整備しています。 <p>また、本流域の上流部において土砂流出防止のため大規模な砂防堰堤を建設しました。</p> <p>地域活性化を促し、個性ある地域づくりの核となる事業の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺土地利用と調和した、地域づくりを支援・誘導する床固工群整備の推進 ・ 住宅・宅地開発を促進・支援する施設整備 	
<p>【位置図】</p> 	
<p>【関連ホームページ】 大鹿村観光情報 http://www.ooshika.com/</p>	

